

18歳意識調査 「第69回 -環境-」

日本財団 2025年6月6日



目次

調査概要		
結果概要	4	
1. 環境問題・気候変動が及ぼす影響への認識		
環境問題の学習経験	6	
環境問題などの社会問題について話す頻度	7	
現在の自分の生活への気候変動の影響	8	
気候変動の影響を感じる事柄	10	
将来の自分の生活への気候変動の影響	11	
気候変動による影響への不安	13	
社会での経済発展と環境配慮のバランス	14	
2. 環境問題・気候変動への対策についての認識		
地球温暖化対策を進めていくべき世代/主体/国や地域	16	
日本政府の気候変動対策への評価	19	
日本政府が気候変動対策をリードする方法	21	
3. 環境問題に配慮した取り組みについての認識		
関心のある環境問題	22	
普段の生活での環境配慮取り組み	23	
環境問題に関する行動や方法についての考え	30	
4. 環境問題の解決についての認識		
理想のエネルギー構成	35	
環境問題解決につながる商品・サービスの購買意向	38	
示唆	40	



第69回18歳意識調査「環境」調査概要

調査対象

全国の17歳~19歳男女

回答数

1,000 ※性年齢別の人口比率に合わせ、下記の通り割り付けを実施。

	17歳	18歳	19歳	計
男	166	168	179	513
女	158	160	169	487
計	324	328	348	1000

実施期間

2025年3月14日(金)~3月17日(月)

調査手法

インターネット調査

注記1:回答者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、

必ずしも日本全体の17~19歳男女に妥当するものではない。

注記2:本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%と

はならない。



第68回18歳意識調查「環境」

結果概要

気候変動による 影響の認識

- ① 回答者の半数以上が、気候変動によって、現在の自分の生活に影響があると回答している。 具体的に影響を感じることとしては、「農作物の不足や価格高騰が起こっているニュースを見聞きすること」などが上位。
- ② 全体で6割弱の人が、気候変動によって、将来の自分の生活に影響があると回答している。 うち9割弱が、不安を感じると回答している。
- ③ 半数以上の人が、未来に向けた地球温暖化対策を先頭に立って進めていくべき世代は、現在の若者(自分たちの世代)であると回答している。

環境配慮行動

- ① 生活の中で行っている環境配慮の取り組みとしては、「食べ物を残さないようにする/外食の際は、店が許せば、食べ残した食事を持ち帰る」などについて、4割以上がほとんどいつも実施。
- ② 環境問題に関する行動や方法について、「環境にやさしい商品を購入する」、「環境問題に関するボランティア活動に参加する」などを「有効である」と回答した人が多い傾向。
- ③ 環境問題の解決につながる商品・サービスの価格受容性を測る質問では、電子機器(スマートフォン、タブレットなど)や電力については6割以上の人が、価格が高くなっても、環境問題の解決につながる商品・サービスを選ぶ、と回答。

3 エネルギー構成へ の考え

- ① 今後の日本国内の発電方法において、もっとも理想的だと思う組み合わせとしては、再生可能エネルギーの比率が高いものを選んだ人が男女とももっとも多く、3割前後となった。
- ② 理想のエネルギーの組み合わせを選んだ背景としては、具体的な理由を選んだ人の中では「環境に良いと思うから」が男女とももっとも多く、安定供給、経済性、安全性と各要素のバランスよりも環境性を重視して理想的なエネルギー構成を選んでいる。

※本頁では質問や選択肢に関する表現を一部簡素化しています。詳細は各設問の結果詳細ページをご覧ください。





詳細

環境問題の学習経験

全体で8割弱の人が、学校の授業などで環境問題について学習したことがあると回答している。

質問7:あなたは、これまで学校の授業などで環境問題についてどの程度学習した経験がありますか。(単一回答)

- ■しっかりと学習した
- ∞ ある程度学習した
- ∞ 少し学習した
- 学習したことがない/学習したかどうか覚えていない

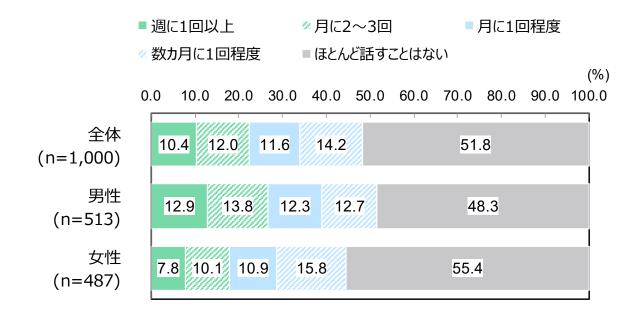




環境問題などの社会問題について話す頻度

全体で半数以上の人が、普段、家族や友人と環境問題などの社会問題について「ほとんど話すことはない」と回答している。

質問9:あなたは普段、授業や仕事以外の時間に、家族や友人とどのくらいの頻度で環境問題などの社会問題について話をしますか。(単一回答)



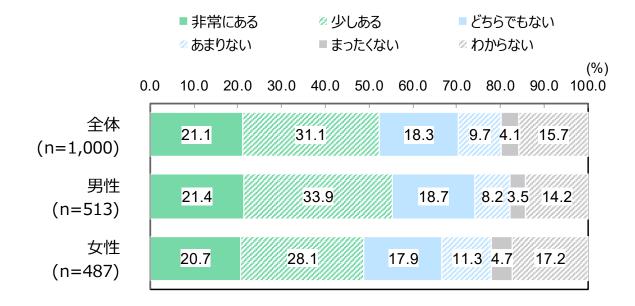


現在の自分の生活への気候変動の影響

全体で半数以上の人が、気候変動によって、現在の自分の生活に影響が「ある」(※)と回答している。

※「非常にある」、「少しある」の合計。

質問10:気候変動によって、現在の自分の生活にどの程度影響があると思いますか。 (単一回答)

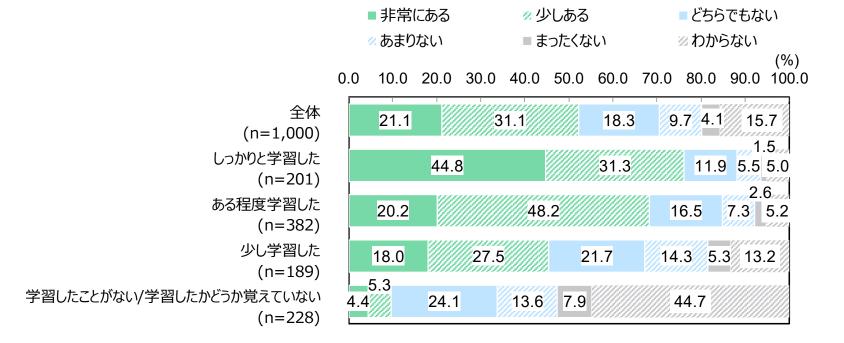




現在の自分の生活への気候変動の影響

環境問題について学習した経験の程度別にみると、学習した経験の認識があるほど、気候変動によって、現在の自分の生活に影響が「非常にある」と回答した人の割合が多い。

質問10:気候変動によって、現在の自分の生活にどの程度影響があると思いますか。 (単一回答)

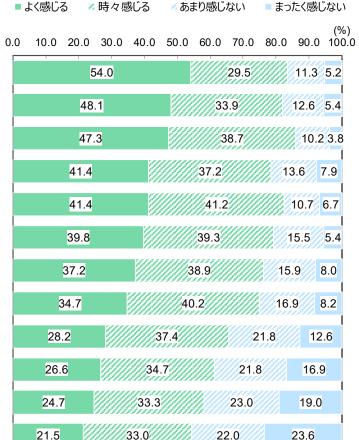




気候変動の影響を感じる事柄

気候変動の影響を感じる事柄としては、「農作物の不足や価格高騰が起こっているニュース を見聞きすること」や「自身や周囲の人が購入するものの価格高騰が起こること」が上位。

質問11: (質問10で「非常にある」「少しある」と回答した人に対して、) あなたが生活をして いる中で、どのようなことから気候変動の影響を感じますか。(各項目に対して単一回答)



 $\times 1$ n=522.

※2 全体のみ、「よく感じる」の降順で 掲載。

自分が熱中症や熱射病になったこと(重症度は問わない)

農作物の不足や価格高騰が起こっているニュースを見聞きすること

熱中症や熱射病で救急搬送される人のニュースを見聞きすること

自身や周囲の人が購入するものの価格高騰が起こること

暖冬のニュースを見聞きすること

秋や冬になっても暖かい日が続くこと

ゲリラ豪雨のニュースを見聞きすること

雨によって土砂災害が起こるニュースを見聞きすること

雨によって道路が冠水するニュースを見聞きすること

雨によって自宅や学校、職場近くの道路が冠水すること

雨によって自宅や学校、職場近くで土砂災害が起こること

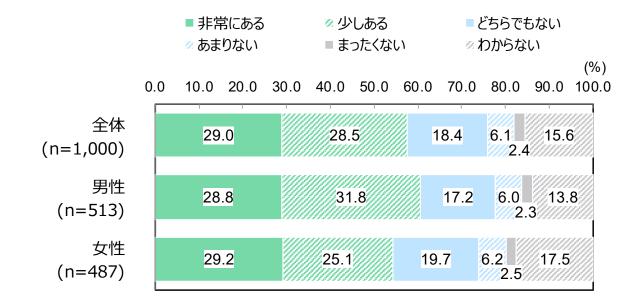
自宅や学校、職場近くでゲリラ豪雨があること

将来の自分の生活への気候変動の影響

全体で6割弱の人が、気候変動によって、将来の自分の生活に影響が「ある」(※)と回答している。

※「非常にある」、「少しある」の合計。

質問12:気候変動によって、将来(自分が生きている間)の自分の生活にどの程度影響があると思いますか。(単一回答)

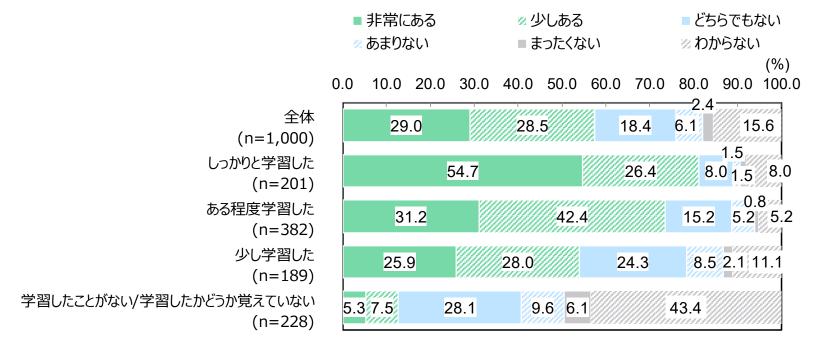




将来の自分の生活への気候変動の影響

環境問題について学習した経験の程度別にみると、学習した経験の認識があるほど、気候変動によって、将来の自分の生活に影響が「非常にある」と回答した人の割合が多い。

質問12:気候変動によって、将来(自分が生きている間)の自分の生活にどの程度影響があると思いますか。(単一回答)



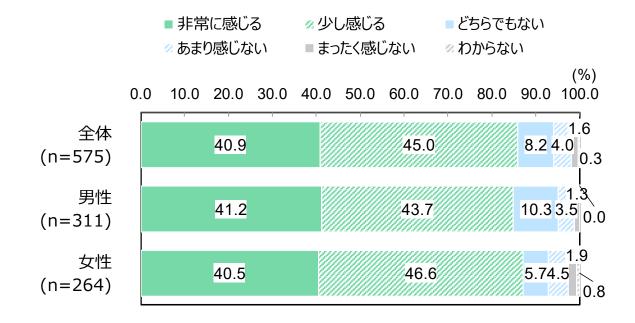


気候変動による影響への不安

気候変動によって、将来の自分の生活に影響が「ある」(※1)と回答した人のうち9割弱が、 不安を「感じる」(※2)と回答している。

- ※1「非常にある」、「少しある」の合計。
- ※2「非常に感じる」、「少し感じる」の合計。

質問13: (前問で影響が「非常にある」または「少しある」と回答した人に対して、) 気候変動による生活への影響について、あなたは今、どの程度不安を感じますか。 (単一回答)





これまでの社会での経済発展と環境配慮のバランス

全体で半数以上の人が、これまでの社会では、経済発展と環境配慮では前者が重視されてきた(※)と回答している。

※「経済発展だけが重視されてきた」、「経済発展がより重視され、環境はあまり考慮されてこなかった」の合計。

質問14:世界において、これまでの社会では、経済発展と環境配慮のどちらが重視されてきたと思いますか。(単一回答)

- ■経済発展だけが重視されてきた
- 経済発展がより重視され、環境はあまり考慮されてこなかった
- ■経済発展と環境配慮の両方がバランスよく重視されてきた
- ◎環境配慮がより重視され、経済発展はあまり重視されてこなかった。
- ■環境配慮だけが重視されてきた
- わからない



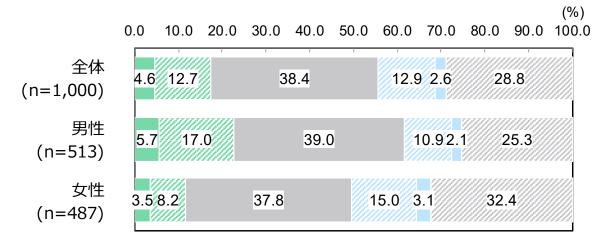


これからの社会での経済発展と環境配慮のバランス

全体で4割弱が、これからは「経済発展と環境配慮の両方をバランスよく重視していきたい」と回答している。

質問15:あなたはこれからの社会の一員として、世界において経済発展と環境配慮のどちらを 重視していきたいと思いますか。(単一回答)

- 経済発展だけを重視していきたい
- ∅ どちらかといえば経済発展をより重視していきたい
- ■経済発展と環境配慮の両方をバランスよく重視していきたい
- ∅ どちらかといえば環境配慮をより重視していきたい
- ■環境配慮だけを重視していきたい
- わからない

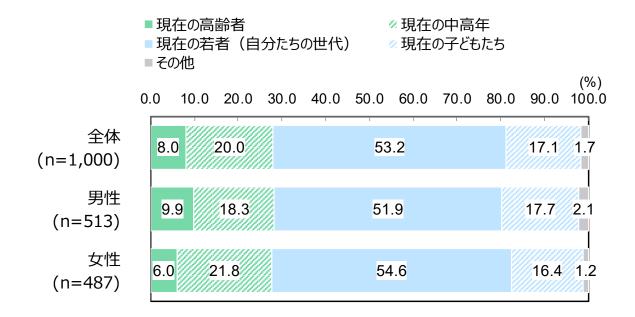




地球温暖化対策を進めていくべき世代

半数以上の人が、未来に向けた地球温暖化対策を先頭に立って進めていくべき世代は、「現在の若者(自分たちの世代)」であると回答している。

質問16:あなたは、未来に向けて地球温暖化対策を先頭に立って進めていくべき世代はだれだと思いますか。1つだけ選んでください。(単一回答)

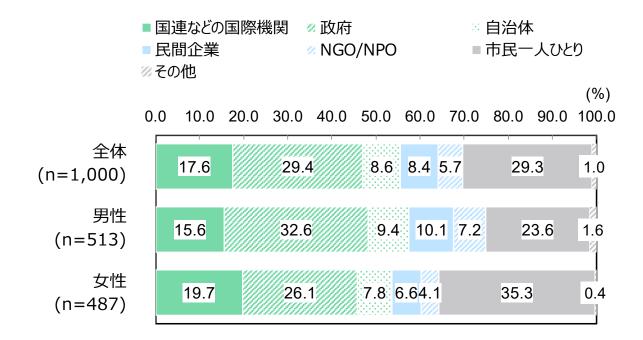




地球温暖化対策を進めていくべき主体

全体、及び男性では、未来に向けた地球温暖化対策を先頭に立って進めていくべき主体としては、「政府」がもっとも多く、「市民一人ひとり」が続いている。他方、女性ではこれと反対の構造となっており、「市民一人ひとり」がもっとも多く、「政府」が2位。

質問17:あなたは、未来に向けて地球温暖化対策を先頭に立って進めていくべき主体はどこだと思いますか。1つだけ選んでください。(単一回答)



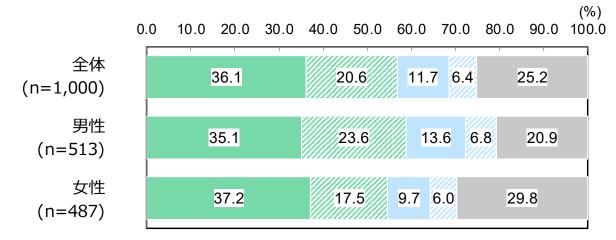


地球温暖化対策を進めていくべき国や地域

未来に向けた地球温暖化対策を先頭に立って進めていくべき国や地域としては、「世界全体」と回答した人がもっとも多い。

質問18:あなたは、未来に向けて地球温暖化対策を先頭に立って進めていくべき国や地域は どこだと思いますか。1つだけ選んでください。(単一回答)

- ■世界全体
- ∞ 先進国(OECD加盟国。ただし、一人当たりGDPが1万米ドル以下の国(チリ、トルコ、メキシコ)を除く)
- 新興国(中国、インドなど)
- ∞ 新興国以外の途 ト国
- わからない



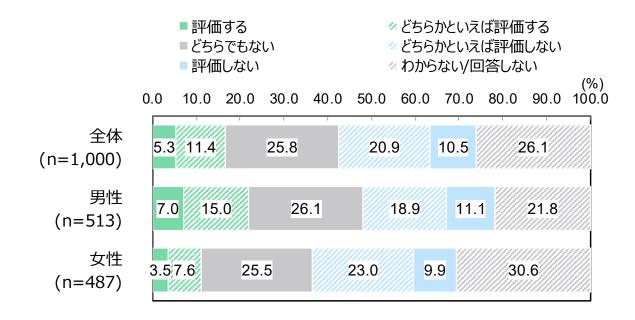


日本政府の気候変動対策への評価

日本政府の気候変動対策に対する評価としては、男女とも、「評価しない」(※1)と回答した人が「評価する」(※2)と回答した人を上回っている。

- ※1「評価しない」、「どちらかといえば評価しない」の合計。
- ※2「評価する」、「どちらかといえば評価する」の合計。

質問19:あなたは、日本政府による気候変動対策を、どのように評価しますか。 (単一回答)





日本政府の気候変動対策への評価

環境問題について学習した経験の程度別にみると、学習した経験の認識があるほど、「どちらでもない」や「わからない/回答しない」とした人が少ない。

質問19:あなたは、日本政府による気候変動対策を、どのように評価しますか。 (単一回答)



- どちらでもない
- 評価しない

- ※ どちらかといえば評価する
- 変わからない/回答しない

(%)

 $0.0 \quad 10.0 \quad 20.0 \quad 30.0 \quad 40.0 \quad 50.0 \quad 60.0 \quad 70.0 \quad 80.0 \quad 90.0 \quad 100.0$

全体 (n=1,000) しっかりと学習した (n=201) ある程度学習した (n=382) 少し学習した (n=189) 学習したことがない/学習したかどうか覚えていない

(n=228)

25.8 20.9 10.5 26.1 12.9 16.4 25.9 22.4 10.9 311.4 29.1 26.2 11.0 4.2 6.9 31.7 25.4 20.1 11.6 1.4.8 11.4 8.3 58.8 15.4



日本政府が気候変動対策をリードする方法

日本政府が気候変動対策を世界でリードする方法としては、「技術提供」がもっとも多かった。

質問20:あなたは、日本政府はどのような方法で気候変動対策の分野で世界をリードできると思いますか。もっともあてはまるものを選んでください。(単一回答)

- ■対策に必要な資金の拠出
- ■技術提供
- ∞ その他
- ∞ わからない/回答しない

- ∞ 対策に必要な人材の育成
- ※法規制などの枠組み構築
- 日本政府がリードできることはない



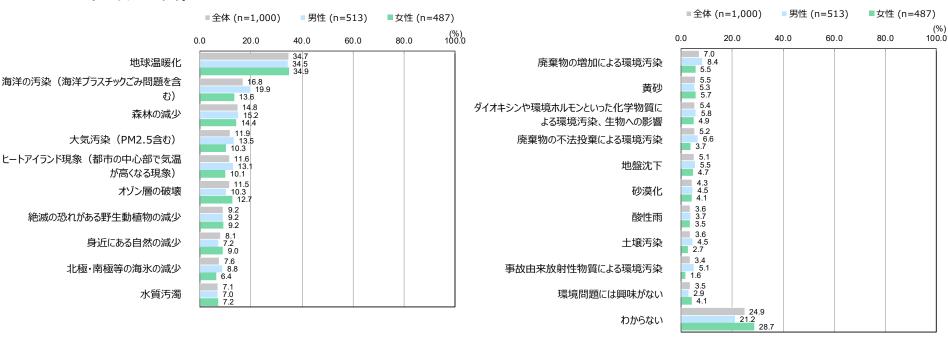
※「その他」は全体、男性、 女性のいずれでも0。



関心のある環境問題

関心のある環境問題としては、「地球温暖化」がもっとも多く約3割が回答、「海洋の汚染」がこれに続いている。全体の約4分の1は「わからない」と回答した。

質問21:あなたが関心のある環境問題を次の中から最大3つまで選んでください。 (複数回答)



※「環境問題には興味がない」、「わからない」を除き、全体の降順で掲載。



普段の生活での環境配慮取り組み(全体)

普段の生活の中で行っている環境配慮の取り組みとして、「食べ物を残さないようにする/外食の際は、店が許せば、食べ残した食事を持ち帰る」など4項目について、4割以上が「ほとんどいつも行っている」と回答。

質問22:以下について、あなたの普段の生活の中でどの程度行っているかを選んでください。

(項目ごとに単一回答)

■ ほとんどいつも行っている

≥ 多くの場合、行っている

∅ たまに行っている

■ほとんど行っていない

(%) 0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

食べ物を残さないようにする/外食の際は、店が許せば、食べ残した食事を持 ち帰る

誰もいない部屋の照明は消す

買い物の際、マイバッグを持参したり、レジ袋を受け取らないようにしたりする

ごみをしっかり分別する

外出時、水筒/マイカップ/マイボトルを持参する

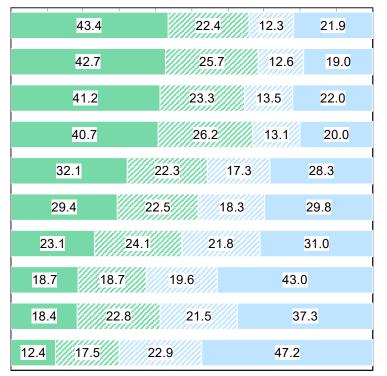
CO2排出の少ない移動手段を使用する(例:自動車ではなく自転車を使う、公共交通機関を使う、など)

自分が使わなくなったものでも、捨てずに使ってくれる人にあげたり売ったりしている/他の人が使わなくなったものを、もらったり買ったりしている

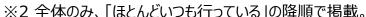
動物福祉に配慮した(例:動物実験をしない、ストレスのない環境で飼育している)製品を買っている

過剰包装の商品を買うことは避ける

フェアトレード(※)の製品を買っている

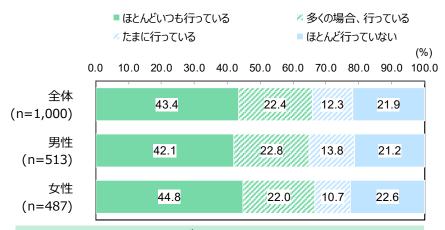


^{※1} 開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」のこと。





食べ物を残さないようにする/外食の際は、店が許せば、食べ残した食事を持ち帰る



買い物の際、マイバッグを持参したり、レジ袋を受け取らないようにしたりする

■ ほとんどいつも行っている

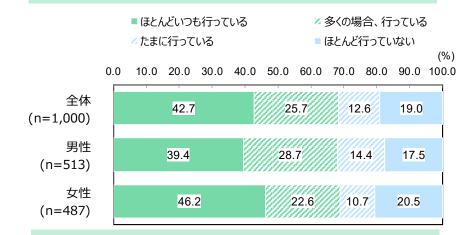
※多くの場合、行っている

たまに行っている

■ ほとんど行っていない



誰もいない部屋の照明は消す



ごみをしっかり分別する

■ ほとんどいつも行っている

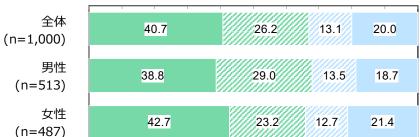
🛮 多くの場合、行っている

たまに行っている

■ ほとんど行っていない

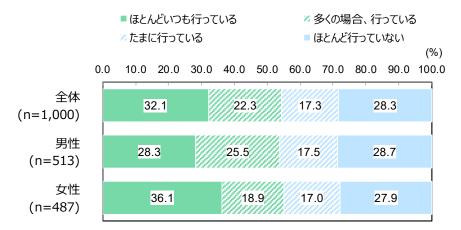
(%)

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

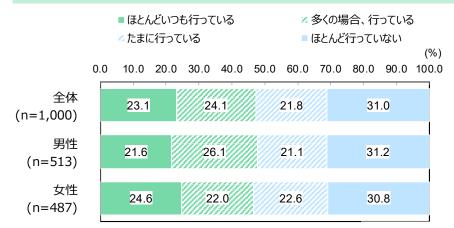




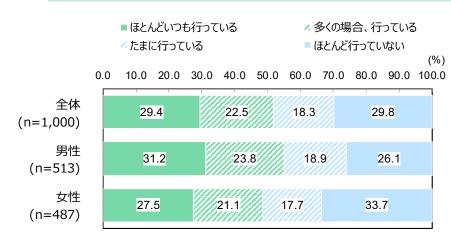
外出時、水筒/マイカップ/マイボトルを持参する



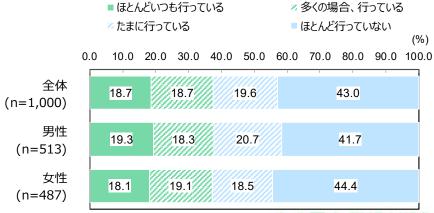
自分が使わなくなったものでも、捨てずに使ってくれる人にあげたり売ったりしている/他の人が使わなくなったものを、もらったり買ったりしている



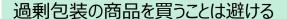
CO2排出の少ない移動手段を使用する(例:自動車ではなく自転車を使う、公共交通機関を使う、など)

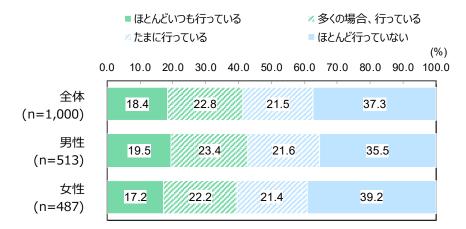


動物福祉に配慮した(例:動物実験をしない、ストレスのない環境で飼育している)製品を買っている

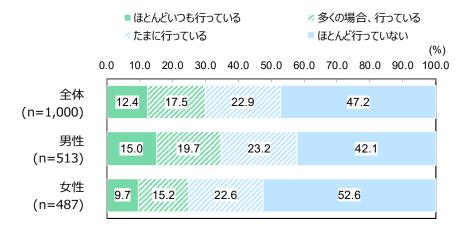








フェアトレード(※)の製品を買っている



※開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」のこと



覚えていない(n=228)

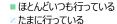
27

普段の生活での環境配慮取り組み(詳細)

環境問題について学習した経験の程度別にみると、学習した経験の認識があるほど、環境 配慮取り組みを行う傾向にある。

質問22:以下について、あなたの普段の生活の中でどの程度行っているかを選んでください。 (項目ごとに単一回答)

食べ物を残さないようにする/外食の際は、店が許せ ば、食べ残した食事を持ち帰る



※多くの場合、行っている

■ ほとんど行っていない

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0 全体 43.4 12.3 21.9 (n=1,000)しっかりと学習した 55.2 10.0 11.9 (n=201)ある程度学習した 12.3 9.9 52.1 (n=382)少し学習した 42.3 19.0 (n=189)学習したことがない/学習したかどうか 15.8 11.8 53.1

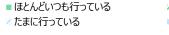
ほとんどいつも行っている ※ 多くの場合、行っている ※ たまに行っている ■ ほとんど行っていない 0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0 全体 42.7 12.6 19.0 (n=1,000)しっかりと学習した 56.2 8.5 10.4 (n=201)ある程度学習した 49.5 14.4 7.3 (n=382)少し学習した 42.9 13.2 14.3 (n=189)学習したことがない/学習したかどうか

18.0

12.7

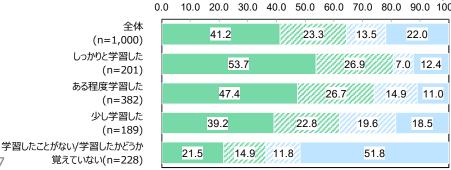
50.0

買い物の際、マイバッグを持参したり、レジ袋を受け取 らないようにしたりする



※多くの場合、行っている ■ ほとんど行っていない

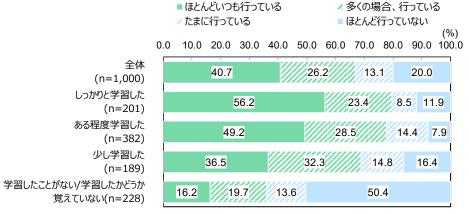
0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0



ごみをしっかり分別する

覚えていない(n=228)

誰もいない部屋の照明は消す



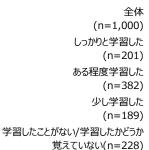
外出時、水筒/マイカップ/マイボトルを持参する

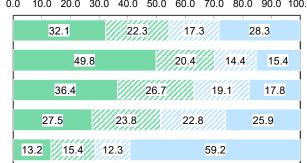
■ ほとんどいつも行っている ※ たまに行っている

※多くの場合、行っている

■ ほとんど行っていない

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0





CO2排出の少ない移動手段を使用する(例:自動 車ではなく自転車を使う、公共交通機関を使う、など)

■ ほとんどいつも行っている ※ たまに行っている

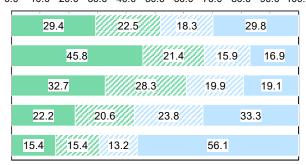
※ 多くの場合、行っている

■ ほとんど行っていない

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

全体 (n=1,000)しっかりと学習した (n=201)ある程度学習した (n=382)少し学習した (n=189)学習したことがない/学習したかどうか

覚えていない(n=228)



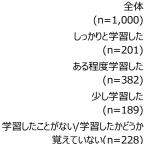
自分が使わなくなったものでも、捨てずに使ってくれる人にあげたり売っ たりしている/他の人が使わなくなったものを、もらったり買ったりしている

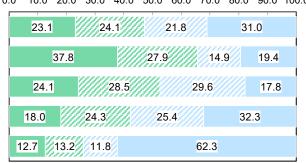
ほとんどいつも行っている ※ たまに行っている

※多くの場合、行っている

■ほとんど行っていない

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0





動物福祉に配慮した(例:動物実験をしない、ストレス のない環境で飼育している) 製品を買っている

■ ほとんどいつも行っている

多くの場合、行っている

※ たまに行っている

■ ほとんど行っていない

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

全体 19.6 43.0 (n=1.000)しっかりと学習した 33.3 27.4 18.4 (n=201)ある程度学習した 22.8 36.1 (n=382)少し学習した 19.0 51.9 (n=189)学習したことがない/学習したかどうか 9.6 13.6 15.8 61.0 覚えていない(n=228)



過剰包装の商品を買うことは避ける

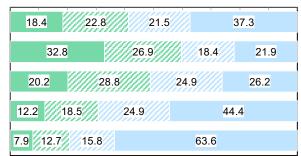
- ■ほとんどいつも行っている
- ※多くの場合、行っている

※ たまに行っている

- ほとんど行っていない
- 0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

全体 (n=1,000) しっかりと学習した (n=201) ある程度学習した (n=382) 少し学習した (n=189) 学習したことがない/学習したかどうか

覚えていない(n=228)



フェアトレード(※)の製品を買っている

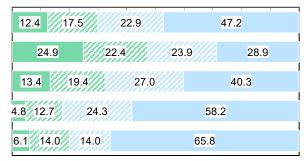
ほとんどいつも行っている



※多くの場合、行っている

全体 (n=1,000) しっかりと学習した (n=201) ある程度学習した (n=382) 少し学習した (n=189) 学習したことがない/学習したかどうか

覚えていない(n=228)



※開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「貿易のしくみ」のこと



環境問題に関する行動や方法 についての考え(全体)

環境問題に関する行動や方法について、「環境にやさしい商品を購入する」、「環境問題に関するボランティア活動に参加する」などの行動を「有効である」と回答した人が多い傾向。他方、「環境問題への対策を訴えるデモの主催・参加など、直接行動する」など4項目については、「有効ではない」と回答した人が4割を超えている。

※「有効ではない」、「どちらかといえば有効ではない」の合計。

質問23:次に示す環境問題に関する行動や方法について、あなたの考えを教えてください。

(項目ごとに単一回答)

有効である

∅ どちらかといえば有効である

■有効ではない

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

環境にやさしい商品を購入する

環境問題に関するボランティア活動に参加する

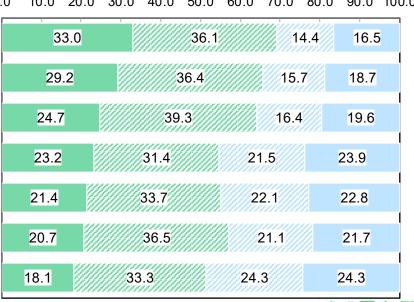
環境問題の解決に取り組むNPOや市民団体に寄付を行う

環境問題を引き起こしうる企業の商品について不買運動に参加する (対象商品を買わないようにする)

環境問題への対策を訴えるために新聞等に投書する、またはSNSで意見を発信・リツイートする

環境問題への対策を訴える署名活動に参加する

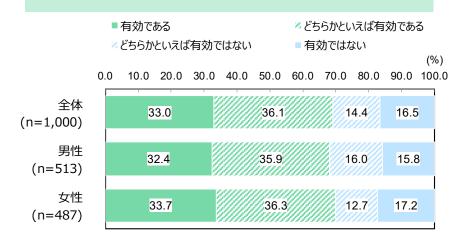
環境問題への対策を訴えるデモの主催・参加など、直接行動する





環境問題に関する行動や方法 についての考え(詳細)

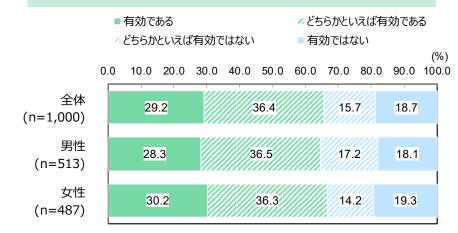
環境にやさしい商品を購入する



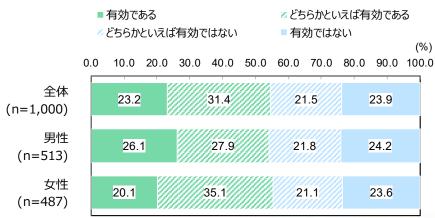
環境問題の解決に取り組むNPOや市民団体に寄付を行う



環境問題に関するボランティア活動に参加する



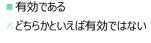
環境問題を引き起こしうる企業の商品について不買運動に参加する(対象商品を買わないようにする)





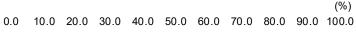
環境問題に関する行動や方法 についての考え (詳細)

環境問題への対策を訴えるために新聞等に投書す る、またはSNSで意見を発信・リツイートする



どちらかといえば有効である

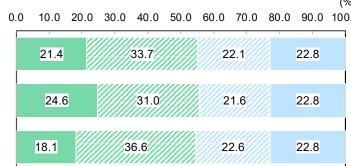
有効ではない





男性 (n=513)

女性 (n=487)



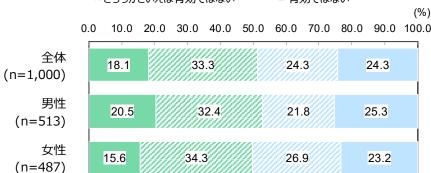
環境問題への対策を訴えるデモの主催・参加など、 直接行動する



※ どちらかといえば有効である

どちらかといえば有効ではない

有効ではない



環境問題への対策を訴える署名活動に参加する

有効である

どちらかといえば有効である

(%)

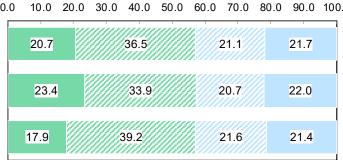
どちらかといえば有効ではない

有効ではない



全体 (n=1,000)男性 (n=513)

女性 (n=487)





環境問題に関する行動や方法 についての考え (詳細)

環境にやさしい商品を購入する

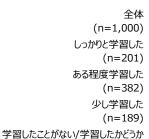
■ 有効である

※ どちらかといえば有効である

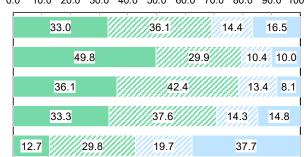
✓ どちらかといえば有効ではない

有効ではない

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0



覚えていない(n=228)



環境問題に関するボランティア活動に参加する

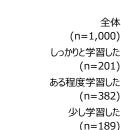
■有効である

※ どちらかといえば有効である

どちらかといえば有効ではない

有効ではない

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0



学習したことがない/学習したかどうか 覚えていない(n=228)



環境問題の解決に取り組むNPOや市民団体に寄 付を行う

有効である

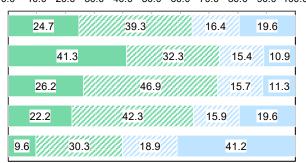
※ どちらかといえば有効である

※ どちらかといえば有効ではない

有効ではない

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

全体 (n=1,000)しっかりと学習した (n=201)ある程度学習した (n=382)少し学習した (n=189)学習したことがない/学習したかどうか



環境問題を引き起こしうる企業の商品について不買 運動に参加する(対象商品を買わないようにする)

■有効である

※ どちらかといえば有効である

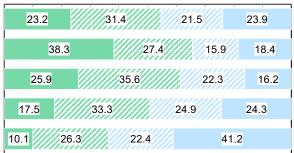
※ どちらかといえば有効ではない

有効ではない

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

全体 (n=1,000)しっかりと学習した (n=201)ある程度学習した (n=382)少し学習した (n=189)学習したことがない/学習したかどうか

覚えていない(n=228)

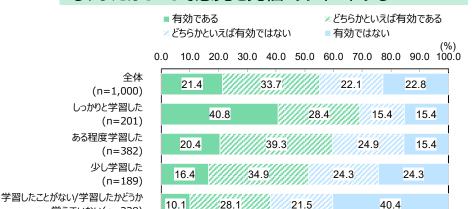




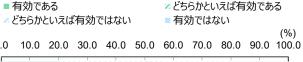
覚えていない(n=228)

環境問題に関する行動や方法 についての考え(詳細)

環境問題への対策を訴えるために新聞等に投書する、またはSNSで意見を発信・リツイートする

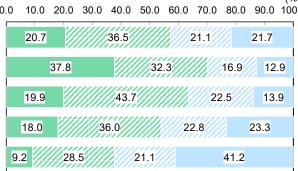


環境問題への対策を訴える署名活動に参加する



全体 (n=1,000) しっかりと学習した (n=201) ある程度学習した (n=382) 少し学習した (n=189) 学習したことがない/学習したかどうか

覚えていない(n=228)



環境問題への対策を訴えるデモの主催・参加など、 直接行動する

有効である

※ どちらかといえば有効である

どちらかといえば有効ではない

有効ではない

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

全体 (n=1,000) しっかりと学習した (n=201) ある程度学習した (n=382) 少し学習した (n=189) 学習したことがない/学習したかどうか 覚えていない(n=228)

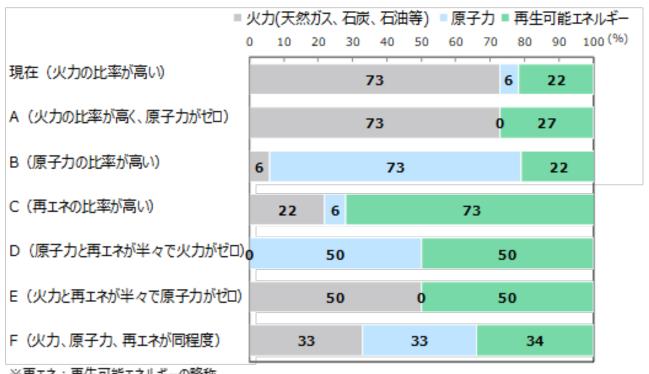
覚えていない(n=228)





提示文章

エネルギーについてお聞きします。現在の日本国内の発電方法の組み合わ せは次の図表に記載の通りです。







理想のエネルギー構成

今後の日本国内の発電方法において、もっとも理想的だと思う組み合わせとしては、「再エネの比率が高い」を選んだ人が男女とももっとも多く、3割前後となった。

質問24:今後の日本国内の発電方法において、もっとも理想的だと思う組み合わせを選んでください。(単一回答)

現在:火力の比率が高い

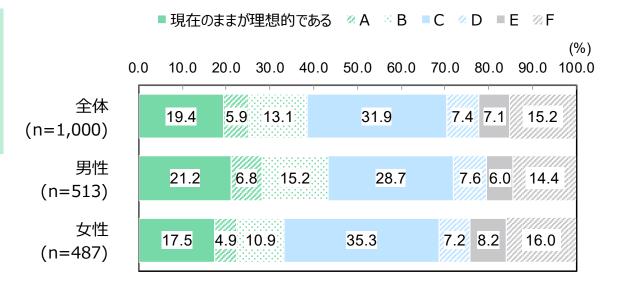
A: 火力の比率が高く、原子力がゼロ

B:原子力の比率が高い C:再エネの比率が高い

D:原子力と再エネが半々で火力がゼロ

E: 火力と再エネが半々で原子力がゼロ

F: 火力、原子力、再エネが同程度



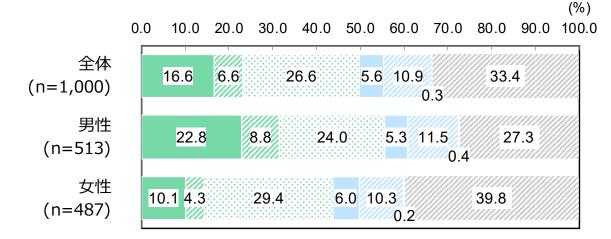


理想のエネルギー構成を選んだ背景

理想のエネルギー構成を選んだ背景としては、具体的な理由を選んだ人の中では「環境に良いと思うから」が男女とももっとも多い。男性では「安定的な供給が期待できると思うから」、女性では「経済効率・環境適合・安全性のバランスが取れていると思うから」が続く。

質問25:前問の回答を選んだ背景として、もっともあてはまるものを教えてください。 (単一回答)

- 安定的な供給が期待できると思うから
- ∞ 経済効率性が高いと思うから
- ※環境に良いと思うから
- 安全性が担保されていると思うから
- ∞ 経済効率・環境適合・安全性のバランスが取れていると思うから
- ■その他
- ∞ 特に理由はない・なんとなく





環境問題解決につながる 商品・サービスの購買意向

環境問題の解決につながる商品・サービスの価格受容性を聞いた。食べ物やファッション・コスメ・美容では、全体の約6割が、そうでないものと比べて価格が高くても、環境問題の解決につながる商品・サービスを選ぶ、と回答している。

質問26:環境問題の解決につながる商品・サービスとそうでない商品・サービスがあったとします。 後者の価格を100とした場合、環境問題の解決につながる商品・サービスはどの程度の価格で あれば購入しますか。(それぞれに対して単一回答)

食べ物

- ■100、または100より安い場合のみ選ぶと思う
- ∞価格が5%程度上がっても選ぶと思う
- ■価格が10%程度上がっても選ぶと思う
- 価格が20%程度上がっても選ぶと思う
- ■価格が50%程度上がっても選ぶと思う
- ※価格が100%以上(2倍以上に)上がっても選ぶと思う



ファッション・コスメ・美容

- 100、または100より安い場合のみ選ぶと思う
- ☎価格が5%程度上がっても選ぶと思う
- ■価格が10%程度上がっても選ぶと思う
- 本価格が20%程度上がっても選ぶと思う
- 価格が50%程度上がっても選ぶと思う
- 価格が100%以上(2倍以上に)上がっても選ぶと思う





環境問題解決につながる 商品・サービスの購買意向

同じ質問で、電子機器(スマートフォン、タブレットなど)や電力では、そうでないものと比べて 価格が高くても、環境問題の解決につながる商品・サービスを選ぶ、と回答している人がさらに 多い。

質問26:環境問題の解決につながる商品・サービスとそうでない商品・サービスがあったとします。 後者の価格を100とした場合、環境問題の解決につながる商品・サービスはどの程度の価格で あれば購入しますか。(それぞれに対して単一回答)

電子機器(スマートフォン、タブレットなど)

- 100、または100より安い場合のみ選ぶと思う
- ∞ 価格が5%程度上がっても選ぶと思う
- 価格が10%程度上がっても選ぶと思う
- 価格が20%程度上がっても選ぶと思う
- 価格が50%程度上がっても選ぶと思う
- ※価格が100%以上(2倍以上に)上がっても選ぶと思う



電力

- 100、または100より安い場合のみ選ぶと思う
- 価格が5%程度上がっても選ぶと思う
- ■価格が10%程度上がっても選ぶと思う
- ϭ価格が20%程度上がっても選ぶと思う
- ■価格が50%程度上がっても選ぶと思う
- 価格が100%以上(2倍以上に)上がっても選ぶと思う





第68回18歳意識調查「環境」

示唆



議論や意見表明 <u>の訓</u>練の必要性

- 環境問題について学習した経験の程度別にみると、学習した経験の認識があるほど、「どちらでもない」や「わからない/回答しない」とした人が少ない。
- 環境問題に関する行動や方法について、デモの主催・参加、署名活動、新聞等への投書やSNSでの発信、不買運動など、自分の意見を表明することが有効ではないと考える人が4割以上存在する。
- 様々な情報に触れ、自分なりに考え、他の人と議論する経験を通じて、社会課題を自分事と捉え、議論に参加していく態度をもった人を育てることが、より良い社会を創っていくうえでは重要ではないか。若者も含めて社会課題を議論し、解決に向けた取り組みを進める社会の土壌を創っていくことが重要である。



環境配慮型消費 の増加に向けて

- 現在の消費税程度(10%程度)までであれば、そうでないものと比べて価格が高くても、環境問題の解決につながる商品・サービスを選ぶ、と回答した人が合わせて4割近く存在する。他方、動物福祉に配慮した製品の購入やフェアトレード製品の購入などは、「ほとんど行っていない」と回答した人が4割以上にのぼる。
- これらの調査結果から、若者には環境配慮型消費の素地はあると推測される。 彼らは今後の社会で主な消費者となっていくため、その姿勢を行動に繋げるた めのきっかけを社会全体で提供することが、日本における環境配慮型消費の拡 大につながるのではないか。

